



～認知症の理解と効果的な対応～

目的：我が国の高齢者の割合は現在 10 人に 1 人であるが、2030 年には 5 人に 1 人、2055 年には 4 人に 1 人になると推計されています。そのような超高齢化社会では、働き盛りの 40 代～50 代のリーダー世代が背負う認知症の方々に対する介護負担増は職場にも大きな影響を与えるといわれています。「老老介護」「息子介護」「シングル介護」「遠距離介護」「週末介護」「夫婦介護」、男性も女性もそれぞれの立場の中で仕事と介護の両立を健やかにどう図り、それにどう備えるか？ 今回は大学の男女共同参画の課題として認知症ケアを取り上げ、「認知症の理解と効果的な対応」について地域の皆様と共に討論いたします。

日時：2015 年 2 月 10 日（火）16:00～18:30（15:30 受付開始）

場所：香川大学工学部 6 号棟 2 階 6201 室（駐車場完備）  
〒761-0396 高松市林町 2217-20

交通アクセス：[http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u\\_eng/hayashi/access/access\\_info/](http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/hayashi/access/access_info/)

対象：香川大学職員、近隣企業の方、一般市民

総合司会：男女共同参画推進室副室長・工学部教授 石井 明

16:00～16:10

開会挨拶 香川大学理事・男女共同参画推進室室長 早川 茂  
来賓挨拶

16:10～16:40

基調講演 地域の大学が取り組む介護支援  
群馬大学男女共同参画推進室コーディネータ 長安めぐみ

16:50～18:20

パネルディスカッション「認知症の理解と効果的な対応」  
司会 男女共同参画推進室副室長・医学部慢性成人看護学教授 清水 裕子  
(1)「認知症の疾患の特徴と対応について」(17:00-17:30)  
医学部附属病院精神科神経科 医師・助教 森 崇洋  
(2)「支えあいのための認知症サポーターの養成と支援活動」(17:30-17:50)  
香川県健康福祉部長寿社会対策課計画推進グループ主任 川崎崇司  
(3)フロアとの意見交換 (17:50-18:20)

18:20-18:30

閉会挨拶 香川大学工学部長 中西 俊介

お申込み：参加ご希望の方は、香川大学男女共同参画推進室までメールまたは FAX、  
電話にて御申し込みください。

Email : [sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp](mailto:sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp)

FAX : 0 8 7 ( 8 3 2 ) 1 0 5 7、電話 : 0 8 7 ( 8 3 2 ) 1 0 5 5

<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

参加無料：どなたでも御参加できます。

主催：香川大学男女共同参画推進室

香川県高松市幸町 1-1（幸町キャンパス北 5 号館 1 階）

TEL:087-832-1055 FAX:087-832-1057 Email:[sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp](mailto:sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp)

協力：工学部、医学部、研究戦略室、社会連携・知的財産センター

後援：香川県、高松市

